

	かかりつけ医	急性期
施設		日本医科大学千葉北総病院脳神経センター 〒270-1694 千葉県印旛郡印旛村鎌苅1715 TEL: 0476-99-1111, FAX: 0476-99-1906
主治医		パス担当: 三品雅洋(副センター長)

氏名	()	急性期ID		年齢	
診断名		回復期ID		職業	

発症日時	年 月 日	身長	cm	体重	kg	発症前ADL	
健康保険		介護保険		身障者			

Modified Rankin Scale ひとつに○ 年 月 日 発症6ヶ月～1年	0	全く障害なし
	1	症状はあるが特に問題となる障害はない。日常生活および活動は可能
	2	軽度の障害。以前の活動は障害されているが、介助なしに自分のことができる
	3	中程度の障害。何らかの介助を要するが、介助なしに歩行可能
	4	比較的高度の障害。歩行や日常生活に介助が必要
	5	高度の障害。ベッド上の生活、失禁、常に介助が必要
6	死亡	

脳卒中後 うつの有無 年 月 日 発症6ヶ月～1年	1	この2週間以上、毎日のように、ほとんど1日中ずっと憂うつであったり沈んだ気持ちでいましたか？	はい・いいえ
	2	この2週間以上、ほとんどのことに興味がなくなっていたり、大抵いつもなら楽しめていたことが楽しめなくなっていましたか？	はい・いいえ
	3	毎日のように食欲が低下、または増加していましたか？または、自分で意識しないうちに、体重が減少、または増加しましたか(例:1ヶ月間に体重の±5%、つまり70kgの人の場合、±3.5kgの増減)？ 食欲の変化か、体重の変化のどちらかがある場合は、「はい」に○をつける。	はい・いいえ
	4	毎晩のように、睡眠に問題(例えば、寝つきが悪い、真夜中に目が覚める、朝早く目覚める、寝過ぎてしまうなど)がありましたか？	はい・いいえ
	5	毎日のように、普段に比べて話し方や動作が鈍くなったり、またはいらいらしたり、落ち着きがなくなったり、静かに座っていられなくなりましたか？	はい・いいえ
	6	毎日のように、疲れを感じたり、または気力がないと感じましたか？	はい・いいえ
	7	毎日のように、自分に価値がないと感じたり、または罪の意識を感じたりしましたか？	はい・いいえ
	8	毎日のように、集中したり決断することが難しいと感じましたか？	はい・いいえ
	9	自分を傷つけたり自殺することや、死んでいればよかったと繰り返し考えましたか？	はい・いいえ

検査所見など		
		カルテや検査結果のコピーの添付や診療情報提供書でも結構です。

脳卒中地域連携パス: かかりつけ医→急性期

日頃より脳卒中地域連携パスにご協力いただき、誠にありがとうございます。

発症から6ヶ月から1年の間に、療養施設・かかりつけ医の先生方にこの地域連携パスをご記入後、日本医科大学千葉北総病院脳神経センター三品雅洋宛に郵送あるいはFAXしていただければ幸いです。個人情報につき、特にFAXの際は誤送のないよう、ご配慮願申し上げます。ある程度まとめて送付いただいても結構です。

Modified Rankin Scaleは、脳卒中の重症度を定量的に評価するスケールとして、世界中で用いられています。急性期病院がリハビリテーション終了後の重症度を把握することで、長期予後を知り、急性期治療の見直しやevidenceの発信につなげるのが目的です。

災害後のメンタルケアに注目が集まっていますが、脳卒中患者でも意欲低下や抑うつ状態といった気分の障害が見られることがあり、脳卒中後うつ (post-stroke depression: PSD) と呼ばれています。PSDの存在は脳血管障害の後遺症からの回復を妨げます。今回、地域連携パスにうつ状態の評価をいれることで、メンタル面のケアにも注意が向くこととなります。当地区の脳卒中地域連携パスではメンタル面にもサポートしていることを特徴にしております。

脳卒中後うつのスケールは、簡便性と著作権など費用の面から、Mini International Neuropsychiatric Interview (MINI) を用いました。患者様に、受診前にMINIのアンケート用紙を記入していただきます。

MINIの項目の1)もしくは2)のいずれかを満たし、更にMINI 9項目のうち2項目以上が該当する例をPSD疑いと診断します。選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (Selective Serotonin Reuptake Inhibitors, SSRI) など抗うつ剤の投与、あるいはメンタルヘルスの専門医へのご紹介をご考慮ください。ただし、トリプタノールなど三環系抗うつ剤やパキシル・デプロメール・ルボックスなどSSRIの中にはワーファリンの効力を強めるものもございますので、併用薬との相互作用をご確認の上ご使用ください。

日常診療のお忙しい中大変恐縮ですが、何卒ご協力お願い申し上げます。

医師会の会合などで脳卒中地域連携パスの説明会も実施しております。日本医科大学千葉北総病院脳神経センター三品雅洋 (mishina@nms.ac.jp) までお申し付けください。